

文献の記載例

1. 本文中の引用

本文中での文献は正確に引用し，引用した文献はすべて文献表に記載する。著者が2名の場合，和文は「と」，英文は「and」を用いてつなぎ，著者が3名以上の場合，和文は「ほか」，英文は「et al.」を用いる。著者の異なる複数の文献が連続する場合はセミコロン（;）でつなぎ，筆頭著者のアルファベット順を優先する。WEB サイトやサイトに掲載されているPDF ファイルを引用する場合は，（著者名，発行年）あるいは（著者名，online）と表記する。

- ① 矢富（1994）が報告した・・・
- ② 奈良と内山（2004）の報告によると・・・
- ③ 藤田ほか（1974）は，・・・
- ④ Chou et al.（2008）は，成年女性を対象に・・・
- ⑤ Agnew and Carron（1994）は，プロ野球・・・
- ⑥ Hagiwara et al.（2008）の報告では・・・
- ⑦ ...を引き起こす大きな要因となる（鈴木，2003）。
- ⑧ ...が引き起こされる危険性が知られている（Murphy and Isaacs，1982）。
- ⑨ ...である可能性が示唆された（Bento et al.，2010）。
- ⑩ ...の有用性が検討されている（Lindemann et al.，2003；中谷と上，2004；Yamada and Demura，2010）。
- ⑪ ...の検討を行ってきた（Demura et al.，2010，2011a）。
- ⑫ 国立スポーツ科学センター（2010）の調査では・・・
- ⑬ ...との報告がある（President's council on fitness, sports and nutrition, online）。

2. 文献リストの作成

雑誌の名前は略さずすべてフルネームで記入する。著者は正確で完全な引用文献リストの作成に努める。英文記述で，著者の姓と名の間は半角スペースを加え，3人以上記述する場合はandの前に必ずカンマ（,）を加える。

1) 雑誌の場合

野口裕二（1991）高齢者のソーシャルネットワークとソーシャルサポート．老年社会科学
13: 89-105.

芳賀博，安村誠司，新野直明，上野春代，太島美栄子，樋口洋子（1996）在宅老人の転倒
に関する調査法の検討．日本公衆衛生雑誌 43（11）: 983-988.

Courneya, K.S. and Carron, A.V. (1992) The home advantage in sport competitions: A
literature review. *Journal of Sport and Exercise Psychology* 14: 13-27.

Buchman, A.S., Boyle, P.A., Wilson, R.S., Fleischman, D.A., Leurgans, S., and Bennett,
D.A. (2009) Association between late-life social activity and motor decline in older

adults. Archives of Internal Medicine 169 (12): 1139-1146.

2) 単行本の場合

鈴木隆雄 (2000)「転倒予防」のための高齢者アセスメント表の作成とその活用法. (監修)ヘルスアセスメント検討委員会, ヘルスアセスメントマニュアル. 厚生科学研究所, 東京.

出村慎一, 西嶋尚彦, 佐藤進, 長澤吉則 (2004) 2 次因子モデル. 健康・スポーツ科学のための SPSS による多変量解析入門. 杏林書院, 東京, pp. 150-157.

Cohen, J. (1988) Statistical power analysis for the behavioral science (2nd ed.), Lawrence Erlbaum Associates: New Jersey.

Montgomery, D.C. and Peck, E.A. (1982) Introduction to linear regression analysis. John Wiley & Sons: New York, pp. 287-346.

3) Web サイト・ページの場合

日本レクリエーション協会 (online) ”子どもの体力向上”, はかろう,
<https://kodomo.recreation.or.jp/check_up/> (参照 2024 年 4 月 1 日)

国立スポーツ科学センター (2010) “年報 2010 Vol. 10”,
<<https://www.jpnsport.go.jp/hpsc/Portals/0/resources/hpsc/publications/nenpou2010.pdf>> (参照 2024 年 4 月 1 日)

2024 年 4 月 1 日 機関誌編集委員会